

日交研シリーズ A-729

平成 29 年度共同研究プロジェクト

「自動車保険研究プロジェクト」

刊行：2018 年 12 月

保険情報のデジタル化と自動車保険
—ビッグデータ時代と自動車保険—

Digitalization of Insurance Information and Automobile Insurance :
Era of Big Data and Automobile Insurance

主査：堀田 一吉（慶應義塾大学教授）

Kazuyoshi Hotta

要 旨

ビッグデータならびに人工知能（AI）の時代の到来は、医療保険や自動車保険をはじめとして保険業界全体に大きなインパクトを与えようとしている。IAIS(国際保険監督者機構)も、2017 年 2 月に“*Fintech Developments in the Insurance Industry*”と題するレポートを発表し、保険業界への影響の様々な角度から考察しているが、まさに、保険業界を挙げて、急速に関心の高まりを見せているところである。

保険業界は、医療保険と自動車保険の分野を中心に、急速にビッグデータ・AI 技術の導入による保険情報のデジタル化が進展している。保険情報のデジタル化によって、従来の静的データを中心に処理してきた保険設計から、動的データをとり入れた保険設計が可能となってきた。そうした中で、保険事業が IT 企業などとの連携が必然的に強化され、保険業の産業的地位は大きく揺らぐことが予想される。同時に、保険情報のデジタル化の進展は、これまでの集団的リスク処理から個別リスク処理への接近を指向することによって、これまで築き上げてきた保険理論や経営戦略においてパラダイムの大転換を引き起こす可能性がある。

本研究では、対象を主に自動車保険に焦点を当てながら、保険情報のデジタル化がもたらす保険経営への影響に加えて、社会経済的影響について考察を行う。

キーワード：保険情報 ビッグデータ、自動運転車、アンダーライティング

Keywords : Insurance Information, Big Data, Autonomous Car, Underwriting